

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学 I		講義	山本 翔太	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人体では生命維持活動（呼吸・循環・消化吸収・排泄）、外界からの刺激に対する反応や働きかけ（感覚・運動）が絶え間なく行われている。また、これらを調節、統合するために、神経系や内分泌系が動いている。これらの基本的な正常機能を理解し、生命現象への理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 細胞の構造と機能について説明できる。		5. 血管系について説明できる。		
2. 神経系の構成とニューロンの働きについて説明できる。				
3. 各種感覚の神経機構を説明できる。				
4. 筋の収縮の仕組みと運動神経による調節の仕組みを説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 生命現象と人体			
2	細胞の構造と機能			
3	静止膜電位と活動電位			
4	神経の興奮伝導と末梢神経			
5	中枢神経系① 総論、大脳			
6	中枢神経系② 間脳、脳幹、意識、脳波、睡眠			
7	中枢神経系③ 小脳、脊髄			
8	末梢神経：脳神経、脊髄神経、反射			
9	運動系 筋と骨、筋収縮の仕組み			
10	感覚器系① 感覚の意義と分類、体性感覚			
11	感覚器系② 視覚			
12	感覚器系③ 聴覚と平衡覚			
13	感覚器系④ 嗅覚、味覚			
14	循環系① 心臓			
15	循環系② 血管系（動脈、静脈、毛細血管）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題	20%	課題提出にて評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 生理学 第6版	岡田隆夫 他		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
からだが見える 人体の構造と機能	医療情報科学研究所		メディックメディア	
自由記載				
備考				